

顕微赤外分光光度計

顕微IR (Micro InfraRed Spectrometer)

原理

赤外光を試料に集光し、測定部位をアパーチャーで絞り、高感度半導体検出器で吸収光(透過または反射光)を検知する。

微小領域について、主に有機構造に関する情報が、赤外吸収スペクトルとして簡便に得られる。

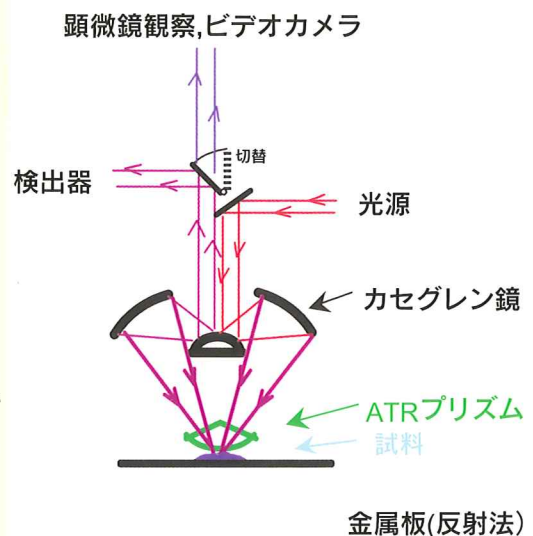
特長

最小測定領域は10 μ m四方(ATRでは30 μ m四方)。

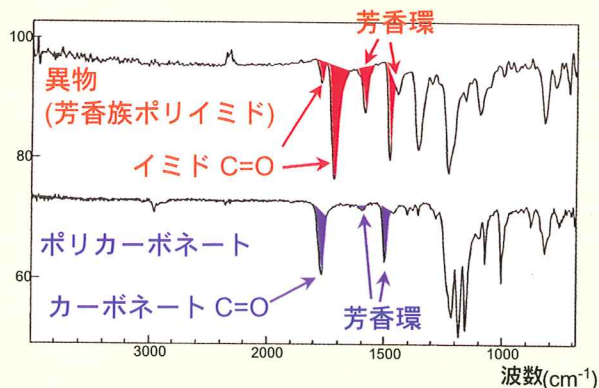
透過、(正)反射、全反射(ATR)法の測定ができる。

ATR法では、プラスチックの他、紙、ガラス、単繊維等の表面を、非破壊で測定できる。

(ATR, 反射法)



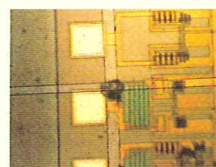
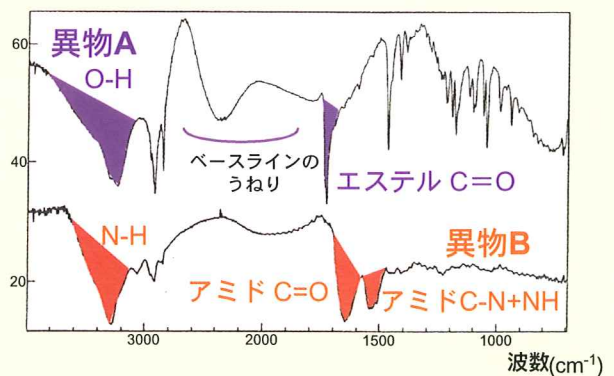
ATR法



100 μ m

ポリカーボネート中の
三日月状異物 (左写真)
の分析

反射法



100 μ m

シリコン基板上の異物分析
異物A: (左写真)添加剤
異物B: チップ間異物
(写真省略)
皮膚角質(垢)

株式会社 三井化学分析センター

<http://www.mcanac.co.jp>

営業部 ☎ 03-5524-3851